

特定非営利活動法人 日本免疫学会
平成 23 年度 Tadamitsu Kishimoto International Travel Award
研究発表報告書

申請者氏名	吉田 秀行	会員番号	0031067
申請者の所属・職名	九州大学大学院医学系学府医学専攻 博士課程 4 年		
出席会議名	9th Joint Meeting of the International Cytokine Society and the International Society for Interferon and Cytokine Research		
発表論文タイトル	Differential effects of small molecule JAK inhibitors on T helper cell subset differentiation and autoimmune/allergy disease models.		

実施結果:

2011 年 10 月 9 日から 12 日にかけてイタリア／フィレンツェで開催された 9th Joint Meeting of the International Cytokine Society and the International Society for Interferon and Cytokine Research に参加し研究成果をポスター発表致しました。本学会は、サイトカイン／インターフェロンに関する基礎と臨床を網羅する会で、様々な分野の著明な研究者らの研究成果を聞き、議論する機会を得て、私の研究観に大きな影響を与えるものとなりました。基礎研究のトピックとしては innate lymphoid cell に関するものが多く、その生理的役割を体系的に学ぶ事ができました。臨床研究では、サイトカイン阻害剤に関するものが関連の基礎研究に従事している者としては印象的で、治療につながる研究を強く意識する事になりました。

私は「Differential effects of small molecule JAK inhibitors on T helper cell subset differentiation and autoimmune/allergy disease models.」という演題名でポスター発表を行いました。本研究は JAK 阻害剤の Th 分化及びマウス病態モデル（気道過敏症、ダニ抗原誘発アトピー性皮膚炎、コラーゲン誘導性関節炎、自己免疫性脳脊髄炎）への効果を調べたもので、質疑応答を通して新たな視点、課題を見つける良い機会となりました。また、参考文献として熟読していた論文の筆者とポスターの場所が近く、疑問点を議論できました。宿泊したホテルにも海外の学会参加者がおり、お互いの研究に関して議論し交流を深める事ができました。

今回、Tadamitsu Kishimoto International Travel Award に選出して頂いたおかげで、上記のような大変有意義な時間を過ごす事ができました。岸本先生をはじめに日本免疫学会の先生方に厚く御礼申し上げるとともに、今回の経験を今後の研究人生に活かしていきたいと思えます。